

注目のできごとを写真でレポート

まちかど トピックス

消防ポンプ車によるパレード



1/10

今年一年の無火災・無事故を祈念
消防団出初式



祈念放水

コロナ禍の中で活動が制限されますが、市民の皆さまの安心安全のため、がんばっていきたくと思っています。



中野市消防団
こすげ かずしげ
小菅 和重 団長

今年最初の消防演習「消防団出初式」。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市中のパレードを消防ポンプ車のみで行い、はしご乗りも中止するなど例年よりも規模を縮小して開催しました。
式典では、功績のあった団員や分団の表彰を行いました。また、今年一年の無火災、無事故を祈念するとともに、コロナ禍で献身的な努力をされている多くの方々に敬意を表し、祈念放水を行いました。

1/9
~11

今年一年の健康を願って

どんど焼き

小正月の伝統行事「どんど焼き」が市内各所で行われました。
 どんど焼きは、無病息災や五穀豊穡などを祈願するもので、「この火で餅などを焼いて食べると一年間健康でいられる」などと伝えられています。
 しめ縄や門松、だるまなどを飾ったやぐらに火がつけられ炎が高く燃え上がると、子どもたちが書いた書き初めに火をつけたり、お餅を焼いたりする様子が見られました。



今年も楽しく
明るく元気よく
過ごします！

けがをしないで
病気にかからず
過ごしたいです！



どんど焼きに来ていた
 神田 蒼太朗さん(右)
 神田 航志朗さん(左)

1/13

日本最高峰の科学コンクール
 日本学生科学賞を受賞

南宮中2年の中澤ののはさんが取り組んだ夏休みの自由研究「アリジゴク」の引越越し Part5 くコウスバカゲロウの幼虫が繭を作るとき」が、中高生対象の科学コンクール「日本学生科学賞」の「読売新聞社賞」を受賞。市長を表敬訪問した中澤さんは「小学生から続けてきた研究で受賞できてうれし」と話してくれました。



12/28

干し柿の新ブランド
 「おひな柿」誕生

JA中野市と同柿研究会による新ブランド「おひな柿」の報告が行われました。土びなのように一つ一つ手作業により白く美しい姿になることが名前の由来。市田柿と同様の原料、製法で作られており、同研究会の風間澄博会長は「市の干し柿文化を絶やさず、魅力を広めていきたい。」と話しました。